

探究基礎(1学年)で課題研究の中間発表会が行われました！

10月16日(金)第5・6校時に1学年の探究基礎で取り組んでいる課題研究の中間発表会が行われました。テーマ毎に10のゼミに分かれて行い、その様子を講師の先生にも聴いていただき、その後アドバイスをいただきました。1月27日(水)に行われるSSH成果発表会に向けて研究・発表準備を更に進めていきます。

指導して頂いた講師の紹介

- ・群馬大学共同教育学部理科教育より4名
日置英彰 教授、岩崎博之 教授、
青木悠樹 准教授、佐藤綾 准教授
- ・群馬大学理工学府より3名
大澤研二 教授、山崎浩一 教授、
天羽雅昭 教授
- ・共愛学園前橋国際大学より3名
後藤さゆり 副学長・教授、
西川正也 副学長・教授、岡井宏文 専任講師



講師からのメッセージ(抜粋)

- ・「仮説を証明するための実験条件の制御、評価方法(仮説を証明するための実験方法となっているか)など、テーマが具体的であったので私の方も昨年より具体的なアドバイスができました。」
- ・「様々な制約がある中で、研究の方法等、模索していた様子が伝わりました。①用語や定義、研究対象などを明確にすること、②一つの問題を色々な角度からながめてみる、③研究のゴールを明確にしてチームで

シェアすること”ができるようになった生徒さんの姿を見てみたくなりました。」



生徒の感想

- ・「普段から論文を読み書きしている方にアドバイスをいただき、実験の内容だけでなく、発表の仕方や論文の書き方についても知ることができました。自分達の実験はまだまだ詰めが甘いなど痛感したので、もう一度実験を見直したいです。」
- ・「大学教授の広い視野と深い意見に驚きました。特にごみの発生には生産者側と消費者側の2つの視点があるという指摘はとても新鮮で、新たな発見に繋がりました。」

今後の流れについて

今回の指導を踏まえて、ゼミ担当の先生やテーマに即した教科の先生の力も借りながら課題研究を進めていきます。1月27日(水)に行われるSSH成果発表会では各班がポスター発表を行います。代表となった班のポスター発表はオンライン配信も予定していますので、配信の際には是非ご覧ください。